



八中だより



令和元年7月19日 7月号
調布市立第八中学校
校長 佐藤 政彦

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8>

実りある夏休みに

校長 佐藤 政彦

有志
竟成

昨年12月、ノーベル医学・生理学賞を受賞した京都大特別教授の本庶佑（ほんじょ・たすく）氏の座右の銘は、『有志竟成（ゆうしきょうせい）』です。これは、「志がしっかりしていれば、いつかは実現できる」、「一見すると困難のようにみえても、固い信念をもって事に当れば遂には実現される」という言葉です。本庶教授は、先が見えない研究生活の中で、心が折れそうになり迷いが生じたときに、この言葉を心の支えとして研究を続けてこられたそうです。

『有志竟成』という言葉をはじめて聞いたとき、とてもすてきな言葉だと思いました。この言葉には、志をもつことだけでなく、夢を実現するには“その過程での努力が欠かせない”という意味も込められています。誰もが、志をもつことはたやすいですが、目標達成へ向けて努力を続けることは、とても困難なことです。そこで、三年生の皆さん・・・、勝負の夏がやってきます。しっかりとした『志』をもち、**不断の努力**により大きな夢を掴み取ってください。努力の過程では、我慢すべきことがたくさんあります。遊び、ゲーム、携帯、テレビ・・・、自らの行動を制限し、悔いが残らない夏休みにしてください。“夏を制する者は受験を制する”です。

今この時期に努力をすることは、大人になったときに大きな自信となって表れます。私自身の経験でいえば、高校受験へ向けて勉強を始めたのが冬休みでした。夏休みはというと、10日間程度の夏期講習に行ったことで満足してしまい、全く勉強をしませんでした。その結果、都立高校受験に失敗し、どうにか都立の二次募集で進路が決まりました。“後悔”しか残らない受験期でした。大人になってからの自信にはまったく繋がっていませんが、後悔から学ぶことはたくさんありました。三年生には、同じ思いをしてほしくありません。来年3月の自分の姿を思い描き、誘惑に負けずにがんばり抜いてください。

明日から37日間の夏休みが始まります。三年生は勉強を中心に、『有志竟成』の精神で、一・二年生は、『**本物に触れる**』夏休みにしてください。本物に・・・？例えば、鳥取にある水木しげる記念館を訪ねてみるとかラグビートップリーグを観戦するとか、親の仕事場を訪問し実際に働いてみるなどでもいいです。普段できないことを、じっくりと時間をかけて行ってみてください。

8月26日、234名の元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。事故や事件に巻き込まれることのないように、安全に留意し有意義な夏休みにしてください。**一度しかない中学時代、頑張るときはいつも今！！**

